

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 2 月 6 日 (2020.2.6)

【公表番号】特表 2019-502959 (P2019-502959A)

【公表日】平成 31 年 1 月 31 日 (2019.1.31)

【年通号数】公開・登録公報 2019-004

【出願番号】特願 2018-536101 (P2018-536101)

【国際特許分類】

G 0 3 F 1/42 (2012.01)

G 0 3 F 1/36 (2012.01)

G 0 3 F 1/70 (2012.01)

G 0 3 F 7/20 (2006.01)

【F I】

G 0 3 F 1/42

G 0 3 F 1/36

G 0 3 F 1/70

G 0 3 F 7/20 5 2 1

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 12 月 23 日 (2019.12.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも 2 個の周期的構造を有し、それら周期的構造のうち少なくとも 1 個が、その周期的構造に対応するセグメント化方向に沿い反復する非対称的な要素を有する計量オーバーレイターゲット。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の計量オーバーレイターゲットであって、上記反復する非対称的な要素が、上記セグメント化方向に対し垂直な方向に沿い内部周期性を呈する計量オーバーレイターゲット。

【請求項 3】

請求項 2 に記載の計量オーバーレイターゲットであって、上記反復する非対称的な要素が、上記垂直な方向に沿い反復するサブ要素を有し、それらサブ要素が上記セグメント化方向に沿い非対称的な計量オーバーレイターゲット。

【請求項 4】

請求項 3 に記載の計量オーバーレイターゲットであって、上記サブ要素が、少なくとも 1 回途切れるラインを有する計量オーバーレイターゲット。

【請求項 5】

請求項 3 に記載の計量オーバーレイターゲットであって、上記サブ要素が、少なくとも 2 本の平行ラインセグメントを有する計量オーバーレイターゲット。

【請求項 6】

請求項 5 に記載の計量オーバーレイターゲットであって、上記平行ラインセグメントのうち少なくとも幾本かが相互接続されている計量オーバーレイターゲット。

【請求項 7】

請求項 4 に記載の計量オーバーレイターゲットであって、上記サブ要素のうち少なくとも

幾つかが、上記垂直な方向に沿った縦ラインを有する計量オーバーレイターゲット。

【請求項 8】

請求項 7 に記載の計量オーバーレイターゲットであって、上記ライン又はラインセグメントのうち少なくとも幾本かが、上記縦ラインのうち少なくとも幾本かに相互接続されている計量オーバーレイターゲット。

【請求項 9】

請求項 3 に記載の計量オーバーレイターゲットであって、上記サブ要素のうち少なくとも幾つかが、上記垂直な方向に沿い相互接続されている計量オーバーレイターゲット。

【請求項 10】

請求項 3 に記載の計量オーバーレイターゲットであって、上記サブ要素のうち少なくとも幾つかが、上記垂直な方向に沿い互いに間隔配置されている計量オーバーレイターゲット。

【請求項 11】

請求項 1 に記載の計量オーバーレイターゲットであって、上記非対称的な要素が、上記セグメント化方向に対し垂直であり非対称配置されている少なくとも 1 本のラインを有する計量オーバーレイターゲット。

【請求項 12】

少なくとも 2 個の周期的構造を有するものとなるよう計量オーバーレイターゲットを設計し、

上記周期的構造のうち少なくとも 1 個を、その周期的構造に対応するセグメント化方向に沿い反復する非対称的な要素で組成する、

方法。

【請求項 13】

請求項 12 に記載の方法であって、上記設計を少なくとも 1 個のコンピュータプロセッサにより実行する方法。

【請求項 14】

請求項 12 に記載の方法であって、更に、上記計量オーバーレイターゲットを作成する方法。

【請求項 15】

請求項 12 に記載の方法であって、更に、上記セグメント化方向に対し垂直な方向に沿い内部周期性を呈するよう、上記反復する非対称的な要素を組成する方法。

【請求項 16】

請求項 15 に記載の方法であって、更に、上記垂直な方向に沿い反復するサブ要素を有するものとなるよう上記反復する非対称的な要素を構成する方法であり、それらサブ要素が上記セグメント化方向に沿い非対称な方法。

【請求項 17】

請求項 16 に記載の方法であって、更に、少なくとも 1 回途切れるラインを有するものとなるよう上記サブ要素を構成する方法。

【請求項 18】

請求項 16 に記載の方法であって、更に、少なくとも 2 本の平行ラインセグメントを有するものとなるよう上記サブ要素を構成する方法。

【請求項 19】

請求項 18 に記載の方法であって、更に、相互接続されるよう上記平行ラインセグメントのうち少なくとも幾本かを構成する方法。

【請求項 20】

請求項 17 に記載の方法であって、更に、上記垂直な方向に沿った縦ラインを、上記サブ要素のうち少なくとも幾つかに導入する方法。

【請求項 21】

請求項 20 に記載の方法であって、更に、上記ライン又はラインセグメントのうち少なくとも幾本かを、上記縦ラインのうち少なくとも幾本かに相互接続する方法。

【請求項 22】

請求項 1 6 に記載の方法であって、更に、上記サブ要素のうち少なくとも幾つかを、上記垂直な方向に沿い相互接続する方法。

【請求項 2 3】

請求項 1 6 に記載の方法であって、更に、上記サブ要素のうち少なくとも幾つかを、上記垂直な方向に沿い互いに間隔配置する方法。

【請求項 2 4】

請求項 1 6 に記載の方法であって、更に、上記セグメント化方向に対し垂直な少なくとも 1 本のラインを非対称配置する方法。

【請求項 2 5】

コンピュータ可読格納媒体を備え、コンピュータ可読プログラムがそのコンピュータ可読格納媒体で以て体现されており、請求項 1 6 の方法を実行するようそのコンピュータ可読プログラムが構成されているコンピュータプログラム製品。

【請求項 2 6】

請求項 1 6 に記載の方法により設計された計量オーバーレイターゲットのターゲットデザインファイル。

【請求項 2 7】

少なくとも 2 個の周期的構造を有し、その周期的構造のうち少なくとも 1 個が、その周期的構造に対応するセグメント化方向に沿い反復する非対称的な要素を有する計量スキャタロメトリオーバーレイターゲット。

【請求項 2 8】

少なくとも 2 個の周期的構造を有し、その周期的構造のうち少なくとも 1 個が、その周期的構造に対応するセグメント化方向に沿い反復する非対称的な要素を有する計量イメージングオーバーレイターゲット。